

子どもたちの未来を応援

県の調査[※]によれば、沖縄の子どもの貧困率は29.9%と全国平均の約2倍です。子どもが安心して心豊かに暮らせる社会を目指して、民間企業でも様々な支援が行われています。
※子どもの貧困実態調査「平成28年」



今号の表紙
いろいろな人が様々な形で沖縄の子どもたちをサポート。すべての子どもたちに夢や希望を持ってほしいと、愛情を込めて支えています。

入学や進学準備を応援するプロジェクトがあります

「子どもが小学校に上がるけど、お金が足りなくてランドセルが買えない」、「参考書や文房具が欲しいけどお金がない」、そんな家庭を支える取り組みを知っていますか？2016年、沖縄タイムス社が立ち上げた「沖縄子ども未来プロジェクト」は、企業や個人のサポーターを募り、入学にかかるランドセルや制服、学用品などの購入費用を非課税世帯[※]へ贈っています。

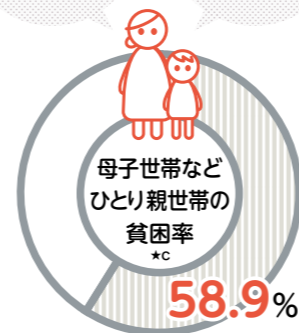
また、子ども支援のNPO団体や子育て世帯への支援金給付も行っています。プロジェクトに賛同したサポーター企業は、継続的な定額寄付のほか、商品売り上げの一部を寄付するなど、それぞれができる形で参加しています。

[※]非課税世帯とは、生計を営む人の中に住民税を課税されている人が一人もいない世帯を指します。

入学や進学って思ったよりお金がかかる？

沖縄県の母子世帯の割合^{※a}
全国1位

母子世帯の年間総収入^{※b}
278万円



- ※a:「子供の貧困に関する指標（沖縄県の状況）」（内閣府）
- ※b:「平成30年度沖縄県ひとり親世帯等実態調査」（沖縄県）
- ※c:「沖縄県の子どもの貧困率（18～64歳の大人が1人の世帯の世帯員の貧困率）」（沖縄県）

沖縄子ども未来プロジェクト（沖縄タイムス社）
https://kodominrai.okinawatimes.co.jp/



児童養護施設を卒業する子どもたちをサポートする取り組みがあるの？

住居費補助や、チャリティー募金によるサポートが行われています

児童養護施設で暮らす子どもたちは、大学等進学・就職を機に施設を旅立つこととなります。卒業する子どもに対しては、自立した生活をサポートするため様々な公的な支援がありますが、県内民間企業でも独自にこれらの子どもをサポートする取り組みを行っています。

株式会社琉球オフィスサービスの「イコールフットプロジェクト」では、施設を卒業後進学する子どもに限り、在学中の学費を負担。理念に賛同する企業から寄付を募り、返済する必要のない住居費補助を行っています。政府が「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付」制度を設けたのに伴い新規受付は停止しましたが、同社の

藤本和之代表は「子どもたちの未来は自由。多くの大人が見守っています」と応援しています。

また、琉球放送株式会社では児童養護施設や里親家庭などで暮らし、18歳で自立する子どもたちを支える「応援！18の旅立ち」チャリティーキャンペーンを実施。募金活動の他にもチャリティーカレンダーを制作・販売（※現在は販売終了）し、子どもたちが自立していける環境づくりのための生活資金を援助し続けています。



高校のない離島の生徒への支援って？

親元を離れる生徒と家族をつなぐ取り組みがあります

沖縄セルラー電話株式会社では、高校のない離島の中学校を卒業後、島外へ進学する生徒たちを対象に、「離島ケータイ奨学金」制度を実施しています。経済的な負担が大きい離島出身の生徒への支援として設けられ、作文など書類審査で選ばれた奨学生へスマートフォンを無償提供し、高校在学中の3年間、通話および通信料金が支援されます。

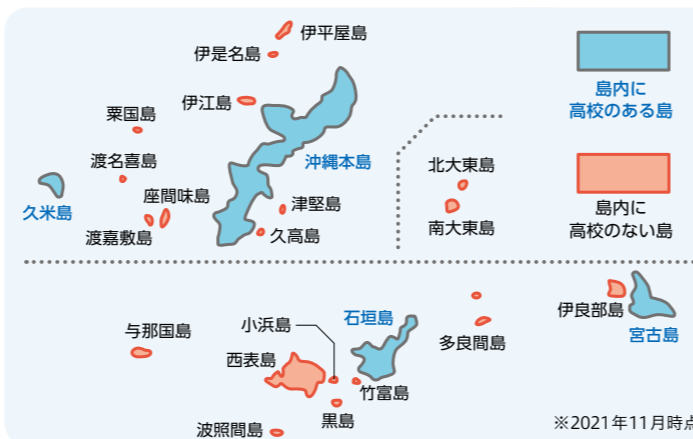
同社では「生まれ育った島を出て、心細い思いをする生徒が少しでも安心して暮らせるようにサポートしたい」と目標を掲げ、地元の携帯電話会社ならではの応援を2015年から7年間続けており、これまでに約300人の生徒を支援しました。島民や生徒たちを経済面だけでなく精神面でも支えています。

沖縄セルラー電話株式会社
https://okinawa-cellular.jp/social-contribution/scholarship/



2021年度交付式。「家族と連絡が取れるのでうれしい。勉強にも役立てたい」と笑顔の生徒たち。

県内で高校があるのは、沖縄本島（橋等で連結されている島含む）、宮古島、石垣島、久米島の4島だけで、高校のない離島の中学生は、高校進学とともに親元を離れます。



私にもできる



現状を知り、子どもを見守る

さまざまなメディアから情報を得て現状や取り組みを知り、「自分に何かできることはないか？」と、日頃から気にかけてみるのがSDGsへの第一歩。子どもの貧困問題を他人事にしないで、募金や、売り上げの一部を子ども支援に使っている企業やお店の商品を購入することも、SDGsにつながります。



募金に協力

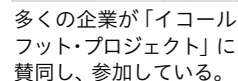
株式会社琉球オフィスサービス

https://r-os.com/equalfoot.html



琉球放送株式会社

https://www.rbc.co.jp/radio/radio_blog/charity2021/



多くの企業が「イコールフットプロジェクト」に賛同し、参加している。



「応援！18の旅立ち」チャリティーカレンダー



献血バス運行スケジュール



献血バス運行スケジュール